



なんでも発表会
11月21日。今年で2回目を迎えた『なんでも発表会』。
発表したいものなら、なんでも発表できるとあって、合唱、合奏、漫画紹介、作品紹介、カラオケ：など

ディケア



今年1年笑顔(ガオー)ですごしたいがー♡

ディケアカレンダー
2022
約1年の歳月をかけたメンバーらが手がけた作品が多数掲載されているディケアカレンダーが今年も完成。毎年カレンダーに載せることに意欲を見ているメンバーらは次回作に載せるものも既に決めており、ディケア利用のモチベーションにつながる。院内や近隣施設にも配布されており、好評を博している。

ディケア



養南レコードから『4 hands』としてデビューします!!

など、様々な演目が発表された。なかでも、盛り上がったのはスタッフ本田・藤井のピアノによる、ルパン三世のテーマと紅の連弾。本田精神保健福祉士は自身が愛してやまないX J A P A Nを弾くとあって、誰よりも気合いが入っていた。

プロジェクト
この度、映画鑑賞に使用していたプロジェクトが一新された。以前まで上映中にプロジェクト本体が異常な熱をもちすぎて、必ず良いシーンで映らなくなる現象が頻発。スタッフも困り果てていた。過去には保冷剤を使用して冷やそうとしたことも。スタッフ



飯田「ハイカオオナリワークを目指します!!」
神崎「全然ピンと来ない...」

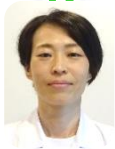
リワーク
就労継続率85.7%
リワークの治療効果を示す一つの指標として「就労継続率」というものがある。これはリワーク卒業後、どの位の人が休職せずに働き続けているかを示す値である。卒業後半年の調査では85.7%の人が継続して働いているというデータが出ており、全国的に見ても良い数値と言える。この数値をいかに高い水準で保てるかがスタッフの腕の見せ所と言えるだろう。



大きく変わった点は黒色が白色になったことかしら

の炭吉広子看護師も新しいプロジェクトに大満足な笑みを見せていた。

羅笑門



10月1日から栄養課で勤務する伊藤真理子さんを紹介します。

Q とにかく覚える事が多くて毎日パンク寸前で働いています。

Q 確かに、患者さん各々で違うし、柔軟さを求められるもんね。

Q 皆さんかっこいいなあって、思いながらついて行ってます。

Q 今ホント大変な時期で、リフレッシュも大切かと思うのですが、好きな事とかありますか？

A YouTubeで長距離走を見ることです。ね！駅伝観賞です。

Q ほ。確かに競技としては面白いけど、とて

◆ようなんSDGs

養南病院では20年前に巨大な生ごみ処理機を導入し、給食から出た生ごみを肥料を生成して生ごみから肥料を生成してポリバケツ2杯分になる。生成した肥料は家庭菜園を楽にした職員が持ち帰って使用するほか「南病棟のフラワーファンタジスタ」こと坂卓さんが中庭の花壇に使用するなど多くのの人に利用されている。同病棟の「伝説のベジタブルマスター」こと



私の夢は、ようなんSDGsの肥料を使ってこの中庭をお花畑にすることです！

三宅よし子さんは「家の野菜はみんなこれ一つで育ててるよ」と陽気に語った。

(次号に続く)

◆水源探検隊②
11月24日(水)、我々探検隊はいよいよ水源地向け出発することに。険しい山道を軽トラで進んでいくと巨大な倒木が我々の行く手を塞ぐ。そこからは自分の足だけが頼りだ。川地隊長を先頭に川を渡り、密林を抜け、水源を目指すことおよそ20分。ついに水源に辿り着いた。
「おそらく水を引き込む配管を石が邪魔しているにちがいない」凛々しい表情でもっともらしいことを言う川地隊長。次の瞬間「あ、あれはなんだ！」北嶋隊員が大声で叫んだ。その視線の先にあったのは...!



体力の衰えを痛感する川地隊長(中央)と隊員達

「おそろく水を引き込む配管を石が邪魔しているにちがいない」凛々しい表情でもっともらしいことを言う川地隊長。次の瞬間「あ、あれはなんだ！」北嶋隊員が大声で叫んだ。その視線の先にあったのは...!

◆次回のお知らせ

次回の養南新聞は令和4年3月号になります。



発行所
社会医療法人 緑峰会
養南病院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎(0584)57-2511
Fax(0584)57-2513
http://www.youan.or.jp
✉ younan@ogaki-tv.ne.jp

ぎふストレスケア
クリニック
〒500-8345
岐阜市菊地町2-4-1
☎0581-27419600

病院開設39年目に突入

養南病院開設38周年の創立記念式典が11月30日(火)に執り行われた。式典に先立ち、関谷院長は「コロナ禍でお祭りなど色んなことができなかったり、ある意味での養南らしさが失われつつあるが、患者さんや家族、地域のニーズに全力で応えるという真の意味での養南らしさは失われないようにしよう」と話した。



39年目だけにみんなサンキュー！

21名が表彰
また併せて行われた永年勤続表彰では、30年表彰が3名、20年が1名、10年が6名、5年が11名、計21名が表彰を受けた。表彰者を代表し、渡辺剛(オレンジハイツ施設長)(30年表彰)は30年前を振り返りながら、病院に感謝の意を述べた。



30年表彰
三輪 紀子(医事課)
渡辺 剛(オレンジハイツ)
高木 鈴代(北病棟)
20年表彰
丸山 一代(栄養課)

表彰を受けた職員(10年以上)は次のとおり。(敬称略)

松下 よしみ(北病棟)
林 昌吾(作業療法課)
福田 育代(南病棟)
南 恵子(南病棟)
平 里美(相談課)
渡邊 洋一(南病棟)

養南新聞も8年目に突入した。
また平成25年1月、病院開設30周年を記念し創刊された小紙「養南新聞」も今年創刊8年目に突入した。
「まずは手に取って、読んでもらえる新聞を」というコンセプトのもと当初はかなり攻めた内容で、あることないこと書かれていたが、時代とともに丸くなり、また毎月発行していたものが、令和2年9月からはコロナ禍ということもあり隔月に変わるなど先細りの感はある。編集長は「近年はコンプライアンスが厳しくなってきた。これも時代。それでも広報誌に与えられた使命は全うしたい」と紙面の充実を誓った。

みか丸の



病院ミシランガイド

「無停止型サバーバー」ランサムウェアが世間を騒がせている昨今、養南病院に限っては、養南コンピュータウイルス対策はバッチリのような？総務課の林さん！
「当たり前じゃないですか！無停止型サバーバーコンピュータを導入したから御安心を」
無停止型？
「全ての部品を二重化し、障害が起きても全体が停止しない神構造となっております」
：てことはサイバー攻撃されても、外来をストップさせるといった混乱に陥ることはないような。



よもやよもやだ

◆幻のクリスマス人形

コロナ禍のため賑やかに祝うこともできない今年のクリスマス。ここストレスケアセンターでは少しでもクリスマス気分を出そうと男女一対のクリスマスドールが飾られた。一見ゴージャスな衣装と気品あふれるいで立ちであつたが、夜中に燭燭を手に奇妙な動作を繰り返すその姿に「怖すぎ」「夢に見そう」と苦情が殺到。わずか一日で撤去された。



Merry Xmas! いったい何が良かったの？



せつかくだからキャラ弁風にしてみようかな

◆病棟が明るく
このたび北1階病棟のデイルームの照明が全てLEDに更新された。これにより見違えるほど明るくなったばかりか省電力、長寿命の効果もある。この照明、あまりに明るすぎるため普段は何か所か消して使用しているとのこと。看護師の高木鈴代さんは「明るくて長寿命。まるで私みたい」と話した。



明るさのおかげで肌補正はバッチリ☆

◆GSCでもカレンダー

GSCのディケアでも今年のカレンダーが完成した。本院同様メンバーの作った季節ごとの作品が掲載されている。今年は100部発行。本院のカレンダーよりも数は少ないため、よりレア度が高く、すでにプレミア価格となっているという(嘘)。



「カレンダーも私もプレミアよ！」